

平成29年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	あらかわ治水巡り	事業経緯	新規	実施体制	協賛	担当所属	坂町支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	体験活動等	

1. 事業目的

荒川は「荒ぶる川」といわれ古くは寛治4年、記録が残るところでは宝暦7年の大水害など昔から洪水を繰り返し沿川に大きな被害を与えてきた。特に今年では昭和42年8月の「羽越水害」から50年という節目の年であり、これまで各種防災対策が進む一方で、住民の防災に関する意識が薄れてきている。

この節目を契機に、治水にまつわる史跡や施設を巡り、川と共存するために育まれた文化や知恵、工夫を学びあらためて防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2. 事業実施体制

主催：羽越水害50年記念事業（荒川水系）実行委員会

村上市、胎内市、関川村、小国町、新潟県村上地域振興局地域整備部・農林振興部、新潟県新発田地域振興局地域整備部、山形県置賜総合支庁建設部、国土交通省羽越河川国道事務所・飯豊山系砂防事務所・山形河川国道事務所、新発田地域広域事務組合消防本部、荒川沿岸土地改良区、東北電力(株)、荒川水力電気(株)、赤芝水力発電(株)、新潟日報社

協賛：(一社)北陸地域づくり協会

後援：地元教育委員会・商工会、報道機関など40団体

3. 事業実施概要

◆上流域コース(担当：飯豊山系砂防事務所)

日時：平成29年7月29日(土) 9:00～16:00

行程：小国町開発総合センター→横川ダム→道の駅「白い森おぐに」
→赤芝橋→玉川大橋→玉川スーパー暗渠砂防堰堤

参加者：20名

◆下流域コース

日時：平成29年8月5日(土) 9:00～16:00

行程：鳥屋→金屋→葛籠山→川部(消防団殉職碑)→花立頭首工
→丸山大橋→大蔵神社→蛇喰→琵琶湯橋

参加者：20名

◆案内者など

- ・地元自治体及び国土交通省職員が案内
- ・地域の史跡・歴史に詳しい地元研究者や羽越水害経験者を講師に招聘
- ・現地では参加者からも羽越水害当時の様子を語っていただいた。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

羽越水害50年記念事業の一環として今回初めて開催。自分たちが暮らす地域の成り立ちを知る「まちあるき」が各地で人気を集める世相もあってか、多くの参加希望者を得た。

荒川流域の治水に関する史跡等を巡り、川に育まれた文化にふれることで過去の災害を再認識し、流域に潜在する災害リスクを知るとともに、近年の想定される最大の洪水に対してとるべき行動を考えるなど防災意識の高揚につながった。また、ふだん見過ごされがちな地域の魅力について再認識することで、今後の活性化につながる事が期待される。

◆上流域コース



◆下流域コース

